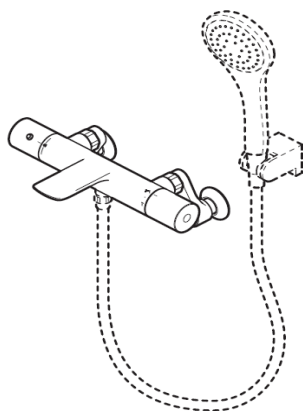


サザナ HTシリーズ S/Nタイプ 壁付サーモスタット混合水栓  
凍結が予想される場所でお使いになる場合



凍結予防方法

P 1

万一 凍結した場合の対応方法

P 2

凍結後、温度がずれている場合の調整方法

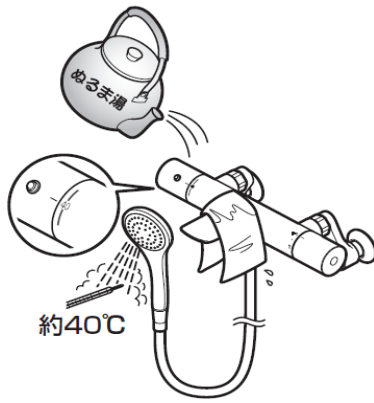
P 2、3

凍結予防方法

- 1 水栓より少量の水を出してください。
- 2 配管部などに保温時を巻いてください。

## 万一 凍結した場合の対応方法

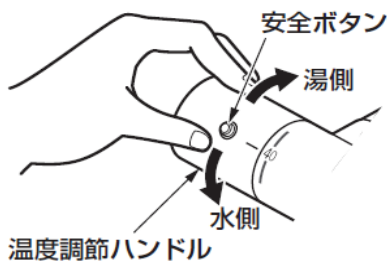
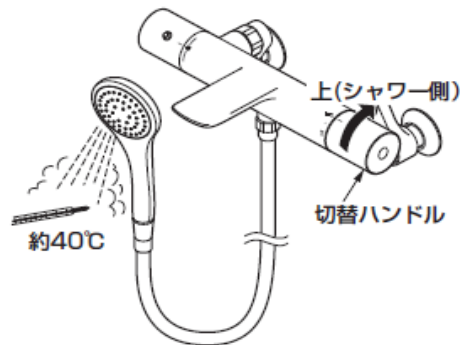
準備するもの：温度計



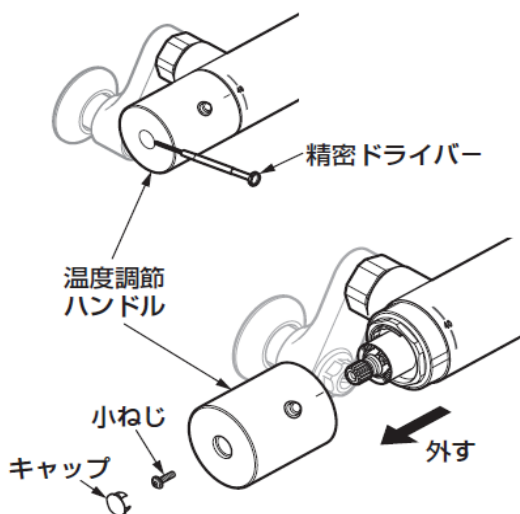
- 1 万一、凍結した場合は、タオルなどの布を巻き付け、しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。
- 2 温度調節ハンドルの目盛り"40"と吐水温度があっているか確認してください。

## 温度がずれている場合の調整方法

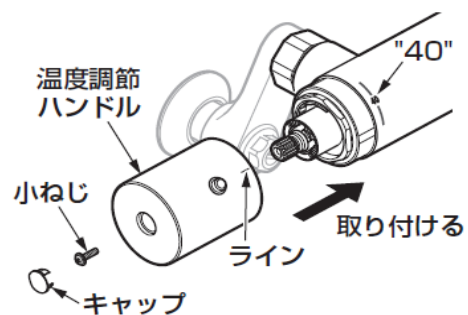
準備するもの：温度計、精密ドライバー



- 1 切替ハンドルを上いっぱいに戻す。  
シャワーから水が出ます。
- 2 温度調節ハンドルをラインの位置に関係なく適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。  
温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



- 3 温度調節ハンドルのキャップを精密ドライバーなど 先の細いものを使用しめっき表面を傷つけないように注意しながら外す。
- 4 次に 小ねじを外して温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルの取り扱いには十分に注意してください。  
落下させるとけがをしたり、ハンドルが変形するおそれがあります。



**5** 目盛りの"40"の文字とポイントをあわせて、温度調節ハンドルをはめ込む。

**6** 精密ドライバーで、小ねじを固定し、キャップを取り付ける。

**7** 固定後に適温（約40℃）の湯が出ているか確認する。

